

Register your product and get support at
www.philips.com/welcome

CEM210



EN User manual

JA ユーザーマニュアル

PHILIPS

目次

1 重要	26	7 システム設定の調整	41
安全上の注意	26	ブラックアウト設定の選択	41
通知	26	デモモードのオン／オフ	41
		起動時音量の設定	41
2 カーオーディオシステム	28	ビープ音のオン／オフ	41
はじめに	28	表示スクロールのオン／オフ	42
パッケージの内容	28	衝撃保護設定の選択	42
メインユニットの概要	29	リセット	42
リモコンの概要	30		
		8 追加情報	43
3 はじめに	31	前面パネルの取り外し	43
カーオーディオの取り付け	31	ヒューズの交換	43
リモコン電池の取り付け	35	機器の取り外し	43
電源のオン／オフ	36		
時計の設定	36	9 製品情報	44
4 ラジオを聴く	36	10 トラブルシューティング	45
ラジオ局へのチューニング	36		
メモリへのラジオ局の記憶	37		
プリセットラジオ局へのチューニング	37	11 用語集	46
5 オーディオファイルの再生	37		
ディスクの再生	37		
USB の再生	38		
再生の制御	38		
MP3/WMA トラックのサーチ	38		
再生情報の表示	39		
イントロ再生	39		
シャッフル再生	39		
繰り返し再生	39		
外部音源の接続	39		
6 サウンドの調整	40		
音量の調整	40		
ミュート	40		
Dynamic Bass Boost (DBB) のオン／オフ	40		
プリセットイコライザーの選択	40		
その他のサウンド設定	40		

1 重要

安全上の注意

- 機器を使用する前に、すべての指示を読んで理解してください。指示に従わずに損害が生じた場合、保証は適用されません。
- この機器は、マイナスグラウンド（アース）12 V DC で動作するように設計されています。
- 安全運転のために、音量は安全かつ適度なレベルに調整してください。
- 不適切なフューズは、損傷や火災の原因となることがあります。フューズを交換する場合は専門家にご相談ください。
- 安全かつ確実な取り付けのために、付属の取り付けハードウェア以外は使用しないでください。
- 短絡防止のために、機器、リモコン、およびリモコンの電池を雨など水に濡らさないようにしてください。
- 通風孔など、機器の開口部に物を入れないでください。
- 機器およびフレームの汚れは、湿らせた柔らかい布で拭き取ってください。アルコール、化学薬品、家庭用洗剤などは絶対に使用しないでください。
- 機器内にはディスク以外の物は絶対に入れないでください。
- ベンゼン、シンナー、市販の洗剤、ディスク用の静電防止剤などの溶剤は、絶対に使用しないでください。
- 機器を開けると、可視および不可視のレーザー光線が放射されます。レーザー光線の照射を避けてください。
- 機器の画面に損傷を与えるおそれがあります。画面を物で触れたり、こすったり、たたいたりしないでください。



注意

- ここでの説明と異なる制御手順、調整手順、または実行手順を行った場合は、有害な放射にさらされるか、その他の危険な操作を引き起こす可能性があります。

通知



Be responsible
Respect copyrights

コンピュータプログラム、ファイル、放送または録音物を含む、著作権で保護された素材を許可なく複製した場合は、著作権を侵害により刑罰の対象となる可能性があります。この機器をそのような目的で使用しないようにしてください。

この機器には次のラベルが添付されています。



クラス 2 機器シンボル



このシンボルは、この機器がダブル絶縁システムを持つことを示しています。

リサイクル



この製品は、再利用できる高品質な材料と部品を使って製造されています。

次のような×印付きのゴミ箱マークが付いている製品には、欧州指針 2002/96/EC が適用されます。



このような製品を家庭のゴミと一緒に捨てることがないようにご注意ください。お住まいの地域での電気製品の分別収集ルールを確認してください。古い製品を分別収集することにより、環境と健康への潜在的なマイナス要因が削減されます。

この製品には欧州指針 2006/66/EC が適用される電池が含まれており、一般の家庭ゴミと一緒に捨てることはできません。

お住まいの地域での電池の分別収集ルールを確認してください。電池を分別収集することにより、環境と健康への潜在的なマイナス要因が削減されます。



この製品は、電波障害に関するEC（欧州共同体）の要件を満たしています。

この製品は、次の指令およびガイドラインの要件を満たしています：2004/108/EC + 2006/95/EC.

環境に関する情報

本製品の梱包には不必要な梱包材を使用していません。当社では、梱包材をダンボール（箱）、発泡スチロール（緩衝材）、ポリエチレン（袋、保護発泡シート）の3種類の素材ごとに簡単に分類できるように、努力を払っています。

システムは、リサイクル可能な素材で製造されているため、専門業者による分解の後に再利用できるようになっています。梱包材、使用済み電池、古くなった機器の廃棄方法については、お住まいの地域の廃棄手順に従ってください。

Philips Consumer Lifestyle によって明示的に承認された場合を除き、この機器に変更または改変を加えた場合は、この機器を操作するための権限が無効になる可能性があります。

2009 © Koninklijke Philips Electronics N.V.

All rights reserved.

仕様は予告なく変更されることがあります。商標は、Koninklijke Philips Electronics N.V. または各所有者に帰属します。Philips はいつでも予告なく製品に変更を加える権利を有します。その際、既に提供済みの物をその変更に従って調整する義務は負いません。

2 カーオーディオシステム

Philips 製品をご購入いただきありがとうございます。
当社が提供するサポートを最大限にご利用いただくには、製品を www.philips.com/welcome で登録ください。

はじめに

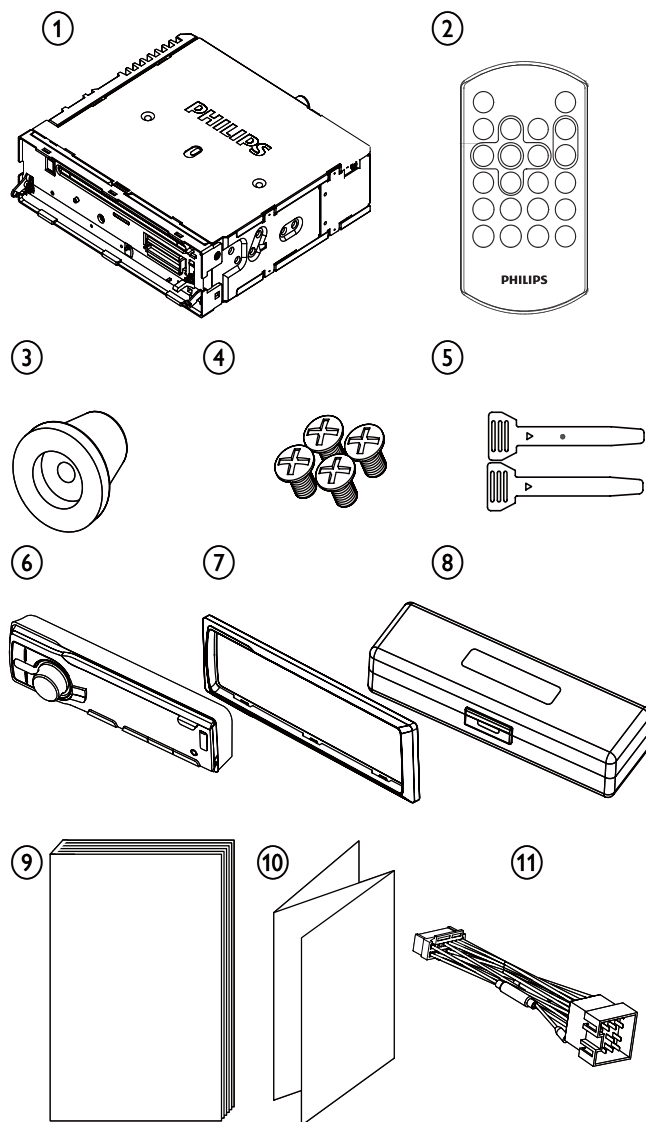
このカーオーディオシステムでは、運転中にラジオやオーディオを楽しむことができます。

- FM または AM (MW) ラジオ
- CD または MP3 ディスクに収録されたオーディオ
- USB ドライブに保存されたオーディオ
- 外部デバイスに保存されたオーディオ

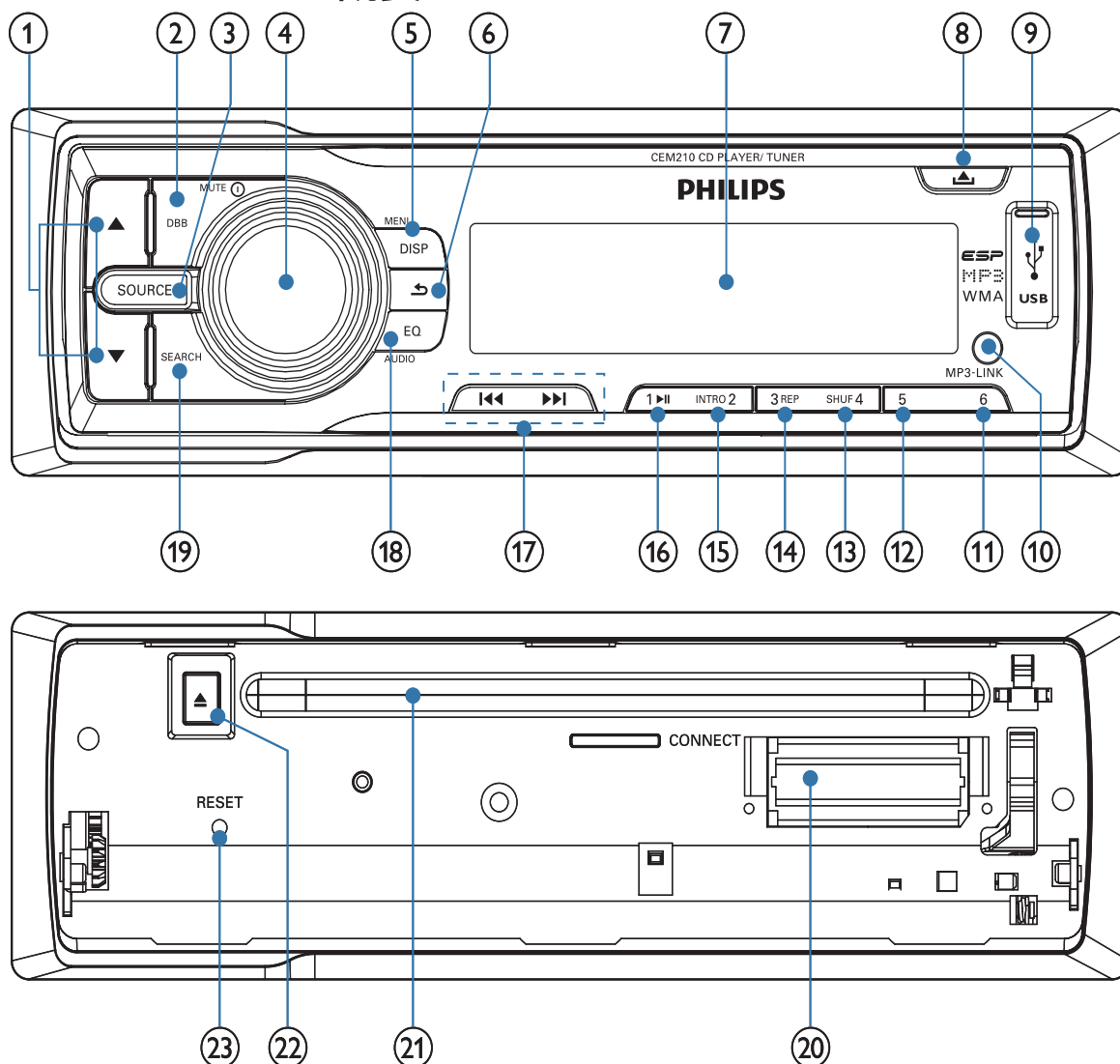
パッケージの内容

パッケージに以下の物が含まれていることを確認してください。

- ① カーオーディオシステム
- ② リモコン
- ③ ゴム製クッション
- ④ ねじ (4 本)
- ⑤ 分解用ツール (2 個)
- ⑥ 前面パネル
- ⑦ トリムプレート
- ⑧ 前面パネルのキャリングケース
- ⑨ ユーザーマニュアル
- ⑩ クイックスタートガイド
- ⑪ 標準コネクター



メインユニットの概要



① ▲▼

- チューナーバンドを選択する。
- MP3/WMA フォルダを選択する。
- メニューを上下にスクロールする。

② DBB

- Dynamic Bass Boost (DBB) サウンドのオン/オフを切り替える。

③ SOURCE

- オーディオソースを選択する。

④ ①/MUTE

- ユニットのオン/オフを切り替える。
- 音量を調節する。
- 選択を確定する。
- 検索する文字を入力する。
- ミュートのオン/オフを切り替える。

⑤ MENU / DISP

- ラジオ周波数、時計、ラジオ番組の種類（可能な場合）を表示する。
- トラック、経過時間、アーティスト、アルバム、タイトル、フォルダ、ファイル、時計を表示する。
- システムメニューにアクセスする。

⑥ ↶

- 前のメニューに戻る。
- サーチを停止する。
- 画面のブラックアウトを無効にする。

⑦ 表示パネル

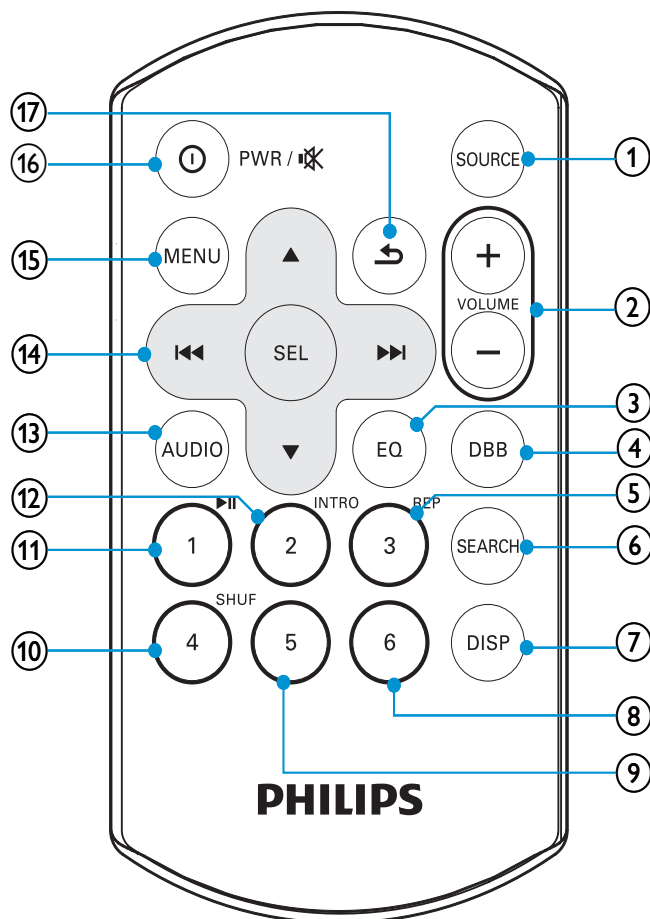
⑧ ▲

- パネルのロックを解除する。

⑨ USB ソケット

- ⑩ 外部デバイスソケット
- ⑪ 6
 - プリセット局の番号を選択する。 6
- ⑫ 5
 - プリセット局の番号を選択する。 5
- ⑬ SHUF, 4
 - シャッフルモードのオン/オフを切り替える。
 - プリセット局の番号を選択する。 4
- ⑭ 3, REP
 - 繰り返し再生モードを選択する。
 - プリセット局の番号を選択する。 3
- ⑮ INTRO, 2
 - イントロ再生のオン/オフを切り替える。
 - プリセット局の番号を選択する。 2
- ⑯ 1、▶||
 - 再生を開始する。
 - 再生を一時停止／再開する。
 - プリセット局の番号を選択する。 1
- ⑰ ◀◀/▶▶
 - ラジオ局にチューニングする。
 - トラックをスキップ／サーチする。
- ⑱ EQ/Audio
 - イコライザー (EQ) 設定を選択する。
 - オーディオ設定メニューにアクセスする。
- ⑲ SEARCH
 - ラジオ局を自動記憶させる。
 - トラックまたはフォルダを検索する。
- ⑳ パネル電源接続
- ㉑ ディスクスロット
- ㉒ ▲
 - ディスクを取り出す。
- ㉓ RESET
 - デフォルト設定に戻す。

リモコンの概要



- ① SOURCE
 - オーディオソースを選択する。
- ② VOLUME +/-
 - 音量を調節する。
- ③ EQ
 - EQ 設定を選択する。
- ④ DBB
 - Dynamic Bass Boost (DBB) サウンドのオン/オフを切り替える。
- ⑤ 3, REP
 - 繰り返し再生モードを選択する。
 - プリセット局の番号を選択する。 3.
- ⑥ SEARCH
 - ラジオ局を自動記憶させる。
 - トラックまたはフォルダを検索する。
- ⑦ DISP
 - ラジオ周波数と時計を表示する。

- トラック、経過時間、アーティスト、アルバム、タイトル、フォルダ、ファイル、時計を表示する。

- ⑧ 6
- プリセット局の番号を選択する。 6.

- ⑨ 5
- プリセット局の番号を選択する。 5.

- ⑩ SHUF, 4
- シャッフルモードのオン/オフを切り替える。
 - プリセット局の番号を選択する。 4.

- ⑪ 1、▶||
- 再生を開始する。
 - 再生を一時停止/再開する。
 - プリセット局の番号を選択する。 1.

- ⑫ INTRO, 2
- イントロ再生のオン/オフを切り替える。
 - プリセット局の番号を選択する。 2.

- ⑬ AUDIO
- オーディオ設定メニューにアクセスする。

- ⑭ ナビゲーションボタン
- ◀◀/▶▶
ラジオ局にチューニングする。
MP3/WMA トラックをスキップ/サーチする。
 - ▲/▼
チューナーバンドを選択する。
MP3/WMA フォルダを選択する。
 - SEL
選択を確定する。

- ⑮ MENU
- システムメニューにアクセスする。

- ⑯ ① PWR、⏻
- ユニットのオン/オフを切り替える。
 - ミュートのオン/オフを切り替える。

- ⑰ ↶
- 前のメニューに戻る。
 - 画面のブラックアウトを無効にする。

3 はじめに



注意

- コントロールは、このユーザーマニュアルで指示されている場合にのみ使用してください。

この章の指示には、必ず順番どおりに従ってください。

Philips にお問い合わせの際は、お使いの機器のモデル番号とシリアル番号が必要になります。モデル番号およびシリアル番号は、機器の下部に記載されています。これらの番号を以下に控えておいてください。

モデル番号 _____

シリアル番号 _____

カーオーディオの取り付け

ここでは一般的な取り付け方法について説明します。取り付ける車種によっては、別途調整が必要な場合があります。取り付けキットについてご質問がある場合は、最寄りの Philips カーオーディオディーラーにご相談ください。

！ 注意

- この機器は、マイナスグランド（アース）12 V DC で動作するように設計されています。
- この機器は必ずダッシュボード内に取り付けてください。機器の使用中は背面が熱くなりますので、それ以外の場所に取り付けると危険です。
- 短絡防止：接続する前に、イグニッションがオフになっていることを確認してください。
- 黄色と赤の電源リード線を接続する前に、その他すべてのリード線が接続されていることを確認してください。
- 接続されていないすべてのリード線が、絶縁用テープで絶縁されていることを確認してください。
- リード線が、シートレールなどに引っかかっていないことを確認してください。
- すべてのグランド（アース）リード線が共通のグランド（アース）ポイントに接続されていることを確認してください。
- 安全かつ確実な取り付けのために、付属の取り付けハードウェア以外は使用しないでください。
- 不適切なフューズは、損傷や火災の原因となることがあります。フューズを交換する場合は専門家に相談ください。

電源リード線（黄色）に関する注意事項

- 他の機器をこの機器に接続する場合は、自動車側の回路の定格が、接続するすべての機器の合計フューズ容量より高いことを確認してください。

スピーカー接続に関する注意事項

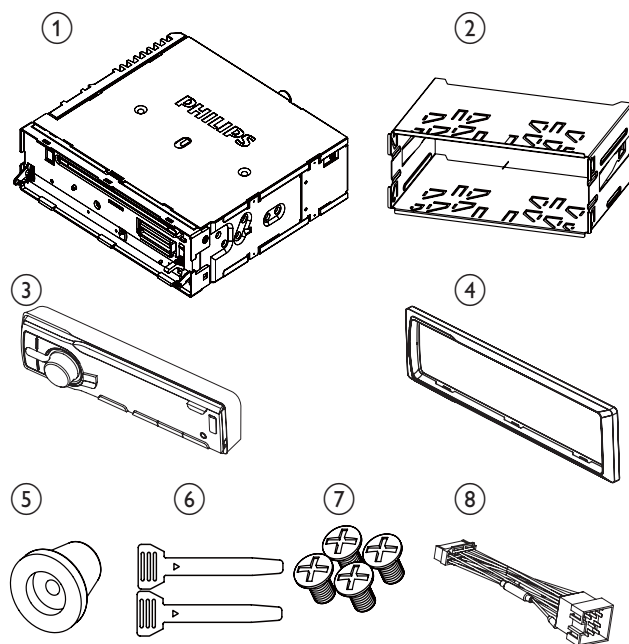
- スピーカー線が車体や車台の金属部分に接触しないようにしてください。
- ストライプ付きのスピーカー線どうしが接触しないようにしてください。

部品の概要

以下の付属部品は、この機器の接続および取り付けに必要な部品です。

- ① カーオーディオシステム
- ② スリーブ
- ③ 前面パネル
- ④ トリムプレート
- ⑤ ゴム製クッション
- ⑥ 分解用ツール
- ⑦ ねじ（4 本）

⑧ ISO コネクター

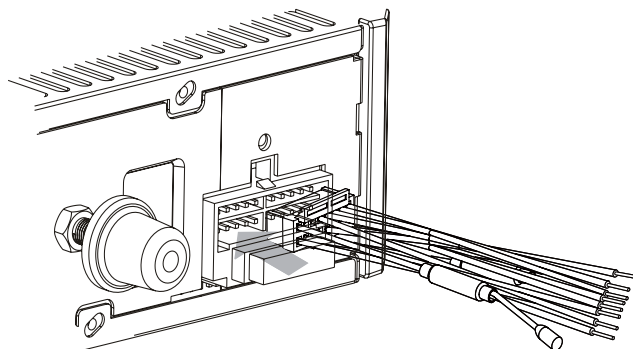


接続：ISO コネクターがある場合

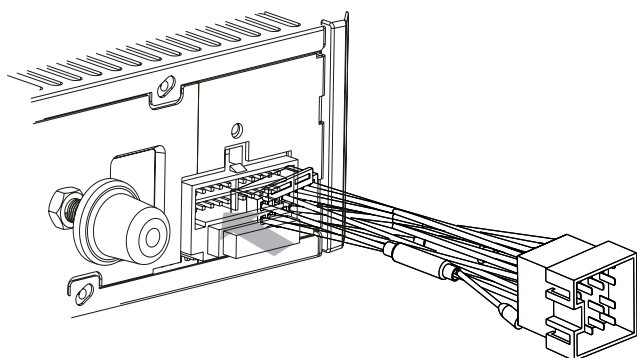
！ 注意

- 接続されていないすべてのリード線が、絶縁用テープで絶縁されていることを確認してください。

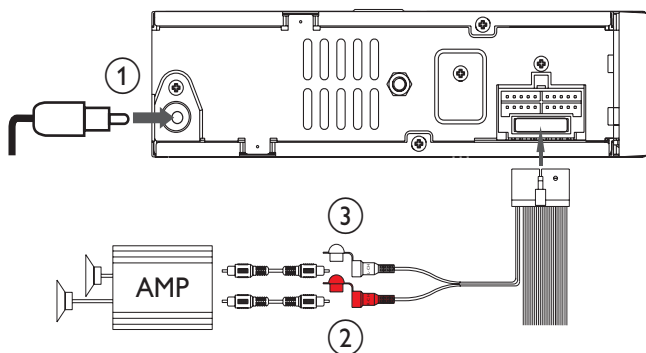
- 1 ダッシュボードから ISO コネクターを引き出し、付属の標準コネクターの大きい方の端に接続します。



- 2 付属の標準コネクターのもう一方の端を機器に接続します。



- 3 必要に応じて、アンテナとアンプを図に示すように接続します。カーオーディオとアンプの接続には、RCA-TO-RCA ケーブル（別売）を使用します。



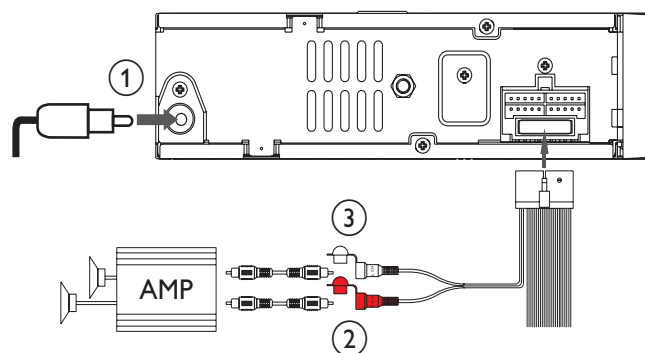
コネクター	接続先
1 ANTENNA	アンテナ
2 REAR LINE OUT R	右リアスピーカー
3 REAR LINE OUT L	左リアスピーカー

接続:ISO コネクターがない場合

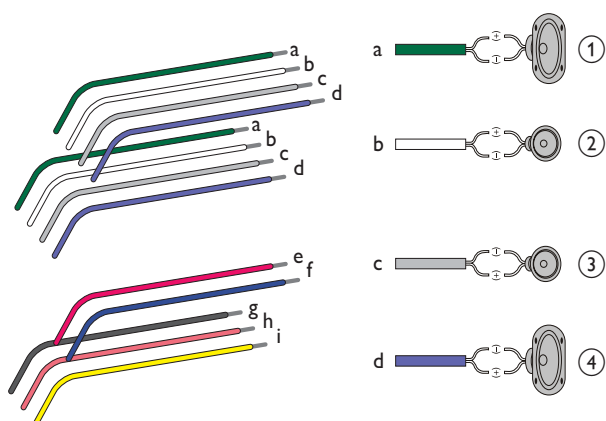
！ 注意

- 最初に黒グラウンド（アース）リード線を接続してください。

- 1 必要に応じて、アンテナとアンプを図に示すように接続します。



コネクター	接続先
1 ANTENNA	アンテナ
2 REAR LINE OUT R	右リアスピーカー
3 REAR LINE OUT L	左リアスピーカー



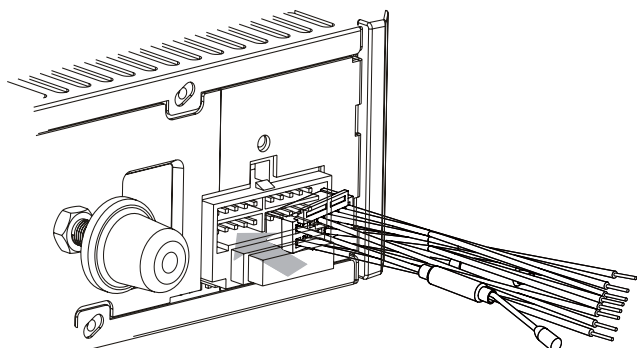
- 2 付属の標準コネクターの大きい方の端を切り落とします。
- 3 自動車側の配線を確認して、付属の標準コネクターに接続します。

1 緑／黒の線	左スピーカー（リア）
2 白／黒の線	左スピーカー（フロント）
3 グレイ／黒の線	右スピーカー（フロント）
4 紫／黒の線	右スピーカー（リア）

e 赤	イグニッションキー +12V DC (ON/ACCの場合)
f 青	モーター／電動アンテナリレー コントロールリード線／アンプ リレーコントロールリード線
g 黒	グラウンド
h オレンジ	イルミネーションスイッチ

i 黄色 常時電圧印加された +12V カーバッテリー

- 4 付属の標準コネクタを機器に接続します。

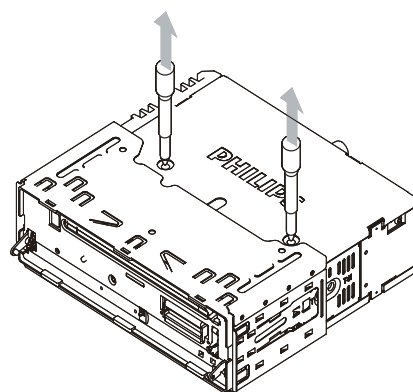


ヒント

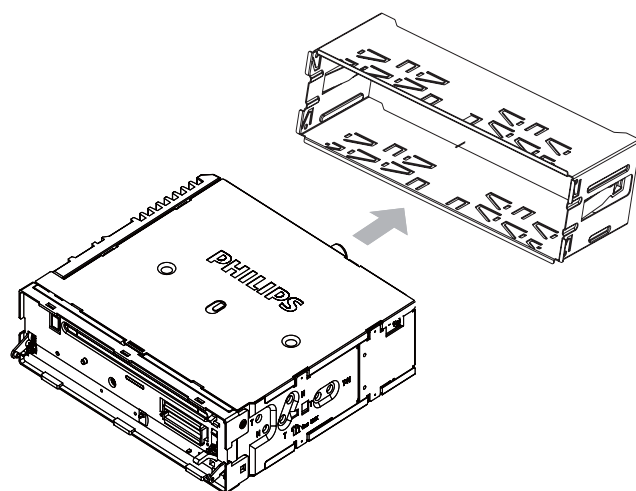
- ISO コネクタのピンの配置は、車種によって異なります。不適切な接続は機器に損傷を与えるおそれがありますのでご注意ください。

ダッシュボード内への取り付け

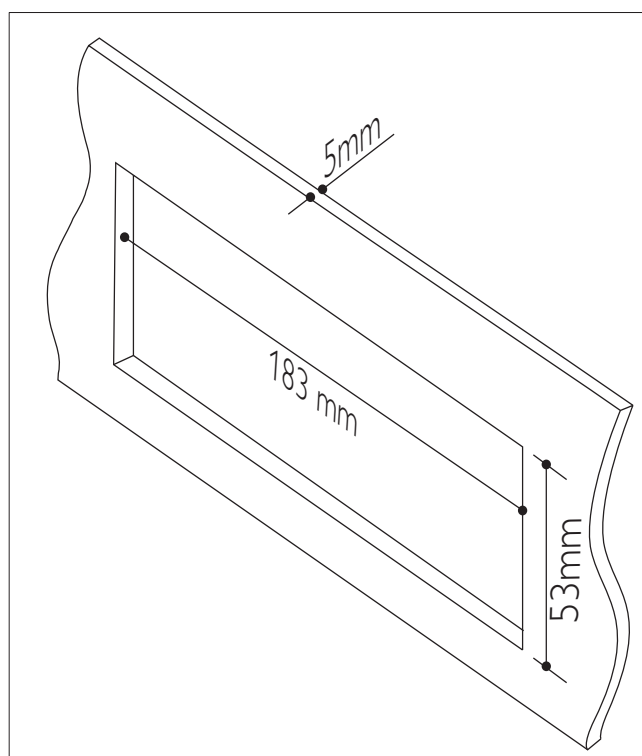
- 1 自動車にオンボードドライブまたはナビゲーションコンピュータがない場合は、カーバッテリーのマイナス端子を取り外します。
- オンボードドライブまたはナビゲーションコンピュータがある自動車では、カーバッテリーのマイナス端子を取り外すと、メモリ内のデータが消去されることがあります。
 - カーバッテリーが取り外されていない場合は、短絡防止のために、裸線どうしを接触させないようにしてください。
- 2 機器の上部から 2 本のねじを取り外します。



- 3 付属の分解用ツールを使用して、取り付けスリーブを取り外します。



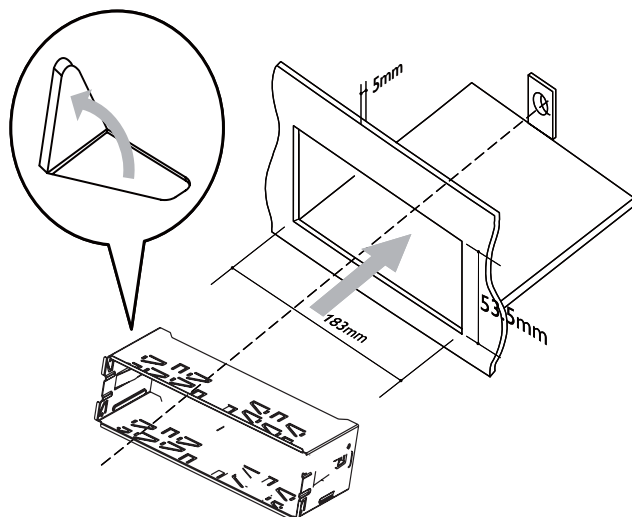
- 4 ダッシュボードの開口部が、図に示す寸法以内であることを確認します。



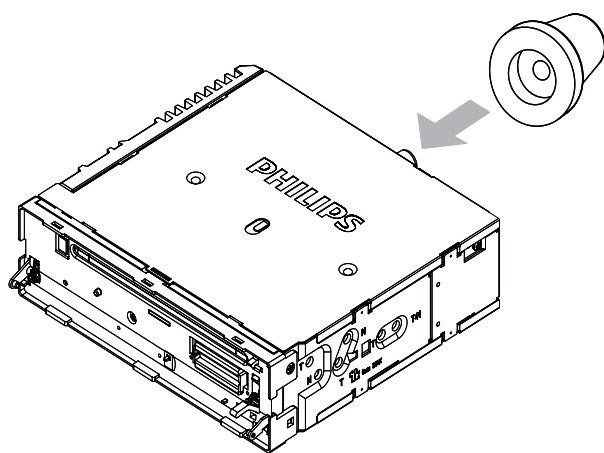
- 5 スリーブをダッシュボード内に取り付け、タブを外側に折ってスリーブを固定します。

注

- 付属のネジを使用してスリーブを固定する機器の場合、この手順は飛ばしてください。



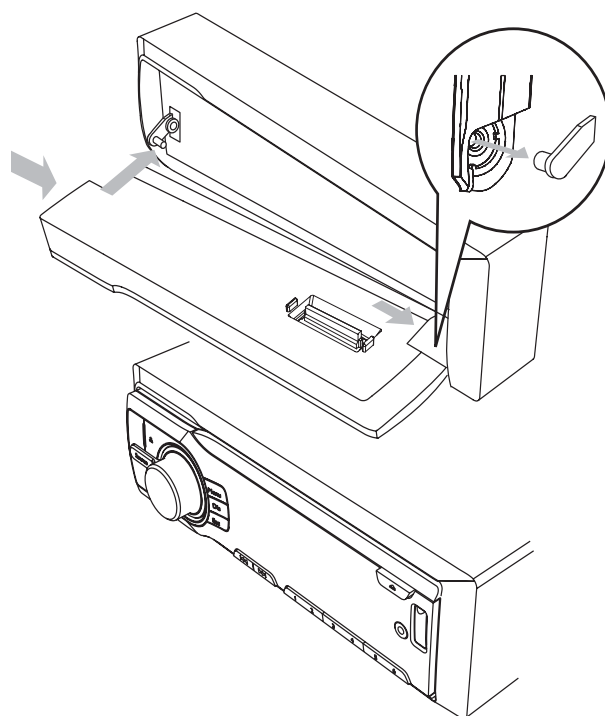
- 6 付属のゴム製クッションを取り付けボルトの端にかぶせます。



- 7 カチッという音が聞こえるまで、機器をダッシュボード内にスライドします。
- 8 カーバッテリーのマイナス端子を接続し直します。

前面パネルの取り付け

- 1 トリムプレートを取り付けます。



- 2 パネルの右側を正しくかみ合うまで、シャーシに挿入します。
- 3 パネルの左側を押して、左側の穴が左側のピラーを指すようにします。
- 4 パネルから手を放すと、左側がかみ合います。

リモコン電池の取り付け



注意

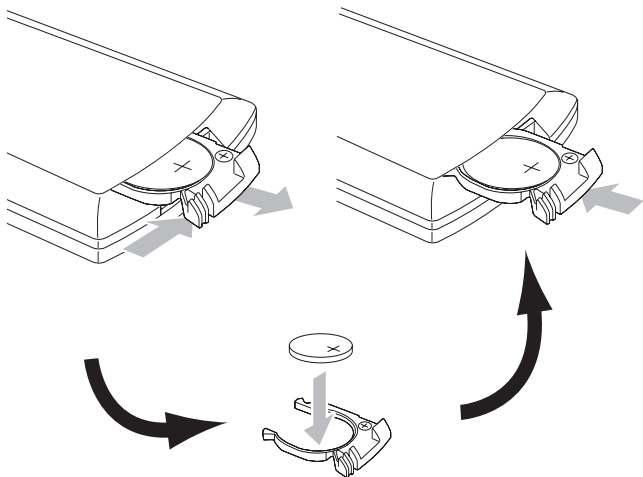
- 破裂の危険があります。電池は熱源、直射日光、炎などに近づけないでください。電池を火中に破棄しないでください。
- 電池寿命が短くなるおそれがあります。ブランドや種類の違う電池を組み合わせず使用しないでください。
- 製品に損傷を与えるおそれがあります。リモコンを長期間にわたって使用しない場合は、電池を取り外してください。
- 過塩素酸塩物質 - 特別な取り扱いが必要である可能性があります。 www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate を参照してください。

初めて使用する場合：

- 1 保護タブを取り外します。

リモコン電池を交換する場合：

- 1 電池入れのカバーを開きます。
- 2 CR2025 電池 1 つを、図に示されている正しい向きで挿入します。
- 3 電池入れのカバーを閉じます。



電源のオン／オフ

- 1 ① を押して機器の電源をオンにします。
 - 機器の電源をオフにするには、① を約 3 秒間押し続けます。

時計の設定

- 1 MENU/DISP を約 3 秒間押し続けます。
- 2 現在の時刻が表示されるまで ▲ または ▼ を繰り返し押します。
- 3 ① を右に回して時間を設定します。
- 4 ① を押して確定します。
- 5 ① を左に回して分を設定します。
- 6 ① を押して確定します。

時計の表示

- 1 時計が表示されるまで MENU/DISP を繰り返し押します。

4 ラジオを聴く

ラジオ局へのチューニング

- 1 SOURCE を繰り返し押してチューナーを選択します。
- 2 ▲ または ▼ を押して、バンドを選択します ([FM1]、[FM2]、[FM3]、[AM1]、[AM2])。
- 3 ◀◀ または ▶▶ を押して、手動でラジオ局にチューニングします。
 - ↳ チューニングされたラジオ局が放送されます。
 - ↳ ラジオ局を自動的にサーチするには、◀◀ または ▶▶ を約 3 秒間押し続けます。

チューナー感度の選択

チューナー感度を調整して、さらに多くのラジオ局を聴取したり、信号強度の高いラジオ局のみを聴取したりすることができます。

- 1 MENU/DISP を 2 秒以上押します。
- 2 [LOCAL] または [DX] が表示されるまで、▲ または ▼ を繰り返し押します。
- 3 ① を回して設定を選択します。
 - [LOCAL] (ローカル)：信号強度の高いラジオ局のみ聴取できます。
 - [DX] (距離)：信号強度にかかわらずラジオ局を聴取します。

ステレオ／モノラル放送の選択

信号強度の低いラジオ局の場合は、モノラルサウンドに切り換えると受信状態を改善することができます。

- 1 MENU/DISP を約 3 秒間押し続けます。
- 2 [STEREO] または [MONO] が表示されるまで、▲ または ▼ を繰り返し押します。
- 3 ① を回して設定を選択します。
 - [STEREO]：ステレオ放送
 - [MONO]：モノラル放送

メモリへのラジオ局の記憶

バンドごとに最大 6 つのラジオ局を記憶させることができます。

ラジオ局の自動記憶

- 1 **SEARCH** を押してから **①** を押します。
 ↳ 選択されたバンドで信号強度が最も高いラジオ局から順に 6 つがプリセットチャンネル (FM1、FM2、FM3 1～6、AM1、AM2) に自動記憶されます。

ラジオ局の手動記憶

- 1 記憶させたいラジオ局にチューニングします。「ラジオ局へのチューニング」(36 ページ) を参照)
- 2 1～6 のいずれか 1 つのボタンを約 3 秒間押し続けます。
 ↳ 選択されたチャンネルにラジオ局が記憶されます。

プリセットラジオ局へのチューニング

- 1 ▲ または ▼ を押してバンドを選択します。
- 2 1～6 のボタンを押してプリセットラジオ局を選択します。

5 オーディオファイルの再生



注

- 再生可能なファイルがディスクまたはデバイスに含まれていることを確認してください。

ディスクの再生



注

- 著作権保護テクノロジーを使用して暗号化されている CD は再生できません。

市販のオーディオ CD と次のディスクを再生できます。

- 書き込み可能 CD (CD-R)
- 書き換え可能 CD (CD-RW)
- MP3 CD
- WMA CD



注

- 再生可能なコンテンツがディスクに含まれていることを確認してください。

- 1 前面パネルの ▲ を押してパネルを開けます。
- 2 ラベルの印刷面を上にして CD を挿入します。
- 3 パネルを閉じます。
 ↳ 再生が自動的に開始されます。
 - CD の再生を一時停止するには、1▶|| を押します。
 - CD の再生を再開するには、もう一度 1▶|| を押します。

CD の取り出し

CD を取り出すには、

- 1 ▲ を押します。
- 2 ディスクスロットの下にある ▲ を押します。



ヒント

- ディスクコンパートメント内にディスクが引っかかってしまった場合は、ディスクが出てくるまで ▲ を押し続けます。

USB の再生

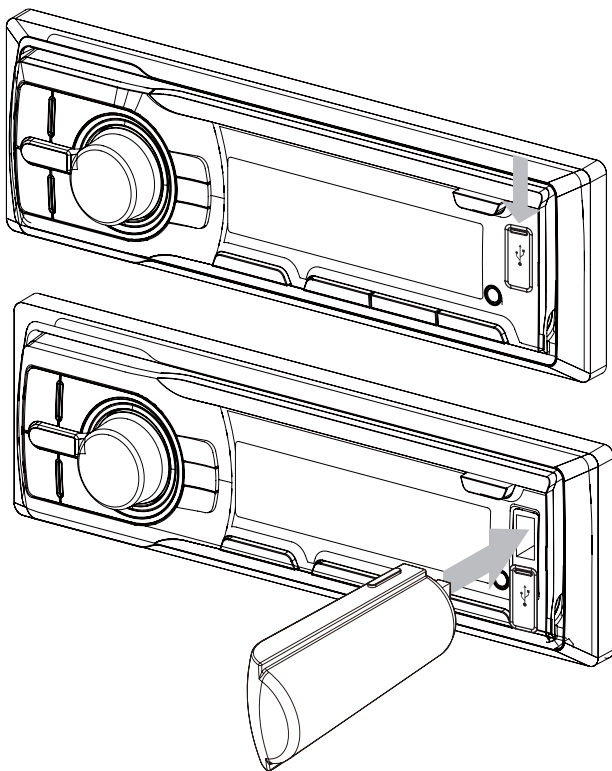


注

- 再生可能な音楽ファイルがUSB デバイスに含まれていることを確認してください。

USB デバイスの挿入

- 1 前面パネルの  が付いているカバーを開けます。



- 2 USB デバイスを USB ソケットに挿入します。
↳ USB デバイスの再生が自動的に開始されます。

USB デバイスの取り外し

- 1 ① を押して機器の電源をオフにします。
- 2 USB デバイスを取り外します。

再生の制御

- フォルダを選択するには、▲ または ▼ を押します。
- 前／次のトラックにスキップするには、◀◀ または ▶▶ を押します。
- 現在のトラック内で前後にすばやくサーチするには、◀◀ または ▶▶ を約 3 秒間押します。
- 再生を一時停止するには、1、▶|| を押します。
- 再生を再開するには、もう一度 1、▶|| を押します。

MP3/WMA トラックのサーチ

- 1 SEARCH を押します。
↳ サーチメニューが表示されます。
↳ [FOLD SCH]: フォルダ順でサーチします。
↳ [FILE SCH]: トラック名でサーチします。
- 2 ① を回して [FILE] を選択してから ① を押して確定します。
- 3 ② を回して文字を入力してから ② を押します。
- 4 サーチ対象の単語を入力できるまで、手順 3 を繰り返します。
- 5 ② を約 3 秒間押してサーチを開始します。
↳ サーチが完了すると、結果のトラック一覧が表示されます。
- 6 一覧全体を確認するには ② を回します。
- 7 ② を押してトラックを選択します。

再生情報の表示

- 1 USB デバイスの再生中に **MENU/DISP** を繰り返し押すと、次の情報が表示されます。
 - トラック番号と再生経過時間
 - アーティスト
 - アルバム
 - タイトル
 - フォルダ
 - ファイル
 - 時計

イントロ再生

各トラックの最初の 10 秒間を再生できます。

- 1 再生中に **INTRO, 2** を押して、次のいずれかを選択します。
 - **[INT ON]**: 各トラックの最初の 10 秒間が再生された後、再生は停止します。
 - **[INT OFF]**: イントロ再生をキャンセルして、通常再生を開始します。

シャッフル再生

トラックをランダムな順序で再生できます。

- 1 再生中に **SHUF, 4** を押して、次のいずれかを選択します。
 - **[SHUF ON]**: すべてのトラックに対してシャッフル再生を開始します。
 - **[SHUF OFF]**: シャッフル再生をキャンセルします。

繰り返し再生

- 1 再生中に **3, REP** を繰り返し押して、次のいずれかを選択します。
 - **[RPT TRK]** (1 つのトラックを繰り返す): 現在のトラックを繰り返し再生します。
 - **[RPT DIR]** (フォルダを繰り返す): 現在のフォルダ内のすべてのトラックを繰り返し再生します。
 - **[RPT ALL]** (すべてのトラックを繰り返す): すべてのトラックを繰り返し再生します。
 - **[RPT OFF]**: 繰り返し再生をキャンセルします。

外部音源の接続

- 1 3.5 mm ケーブルを使用して、外部音源を **MP3 LINK** ソケットに接続します。
- 2 **[MP3 LINK]** が表示されるまで **SOURCE** を繰り返し押します。
- 3 外部コンポーネントを操作します (外部コンポーネントのユーザーマニュアルを参照してください)。

6 サウンドの調整

音量の調整

- 1 音量を大きく／小さくするには ① を右／左に回します。

ミュート

オーディオのサウンドをオフにすることができます。

- 1 再生中に **MUTE** ① を押します。
 - サウンドを再びオンにするには、もう一度 **MUTE** ① を押します。

Dynamic Bass Boost (DBB) のオン／オフ

- 1 **DBB** を押すと現在の設定が表示されます。
 - ↳ **[DBB ON]**: Dynamic Bass Boost (DBB) 機能がオンになっています。
 - ↳ **[DBB OFF]**: DBB 機能がオフになっています。
- 2 DBB 設定を変更するには、もう一度 **DBB** を押します。

プリセットイコライザーの選択

- 1 **EQ/Audio** を押します。
 - ↳ 現在のイコライザー設定が表示されます。

- 2 プリセット EQ を選択するには、もう一度 **EQ/Audio** を繰り返し押します。
 - **[OPTIMAL]** (最適)
 - **[FLAT]** (フラット)
 - **[POP]** (ポップ)
 - **[USER]** (ユーザー)
 - **[TECHNO]** (テクノ)
 - **[ROCK]** (ロック)
 - **[CLASSIC]** (クラシック)
 - **[JAZZ]** (ジャズ)

その他のサウンド設定

ユーザープリセット EQ を編集することもできます。

- 1 **EQ/Audio** を約 3 秒間押し続けます。
- 2 ▲ または ▼ を繰り返し押して、調整する項目を選択します。
 - **[BAS]** (バス) : -7~7
 - **[TRE]** (トレブル) : -7~7
 - **[BAL]** (バランス) : 12L~12R (L = 左スピーカー、R = 右スピーカー)
 - **[FAD]** (フェーダー) : 12R~12F (R = リアスピーカー、F = フロントスピーカー)
- 3 ① を回して値を選択します。

7 システム設定の調整

ブラックアウト設定の選択

機器が 10 または 20 秒間操作されなかった場合に、画面を自動的にオフにするように設定することができます。

- 1 MENU/DISP を約 3 秒間押し続けます。
- 2 ① を回して設定を選択します。
 - [BKO 10 S]: 最後の操作から 10 秒間経過すると、画面が自動的にオフになります。
 - [BKO 20 S]: 最後の操作から 20 秒間経過すると、画面が自動的にオフになります。
 - [BKO OFF]: 画面は自動的にオフにしません。

デモモードのオン／オフ

デモモードがオンの場合は、機器が 2 分以上操作されなかった場合に、すべての機能が表示されます。

- 1 MENU/DISP を約 3 秒間押し続けます。
- 2 [DEMO] が表示されるまで、▲ または ▼ を繰り返し押します。
↳ 画面に現在のデモモード設定が表示されます。
- 3 ① を回して設定を選択します。
 - [DEMO ON]: デモモードをオンにします。
 - [DEMO OFF]: デモモードをオフにします。

起動時音量の設定

機器の電源をオンにするたびに、前回の音量設定またはプリセット音量で再生することができます。

- 1 MENU/DISP を約 3 秒間押し続けます。
- 2 [V - LAST] または [V - ADJ] が表示されるまで、▲ または ▼ を繰り返し押します。
- 3 ① を回して設定を選択します。
 - [V - LAST]: 機器の電源をオンにするたびに、前回使用していたときの音量設定を使用します。
 - [V - ADJ]: 機器の電源をオンにするたびに、プリセットされている音量設定を使用します。

プリセット音量の記憶

機器の電源をオンにしたときに、プリセット音量で再生することができます。

- 1 起動時音量として [V - ADJ] を選択します。
- 2 MENU/DISP を約 3 秒間押し続けます。
- 3 [A-VOL] が表示されるまで、▲ または ▼ を繰り返し押します。
- 4 ① を回して値 0～47 を選択します。

ビープ音のオン／オフ

ボタンを押すたびにビープ音が鳴ります。このビープ音のオン／オフを切り替えることができます。

- 1 MENU/DISP を約 3 秒間押し続けます。
- 2 [BEEP ON] または [BEEP OFF] が表示されるまで、▲ または ▼ を繰り返し押します。
- 3 ① を回して設定を選択します。
 - [BEEP ON]: ビープ音をオンにします。
 - [BEEP OFF]: ビープ音をオフにします。

表示スクロールのオン／オフ

トラック情報が表示パネルに表示しきれない場合は、表示しきれないテキストを切り捨てるか、スクロールしてすべてを表示するかを選択することができます。

注

- MP3 トラック名やアルバム名に特殊文字が含まれる場合は、画面に正しく表示されないことがあります。
- デジタル著作権管理 (DRM) で保護された一部の WMA は、この機器では再生できません。
- この機器の対応上限数を超えるフォルダ／ファイルは、表示／再生されません。

- 1 MENU/DISP を約 3 秒間押し続けます。
- 2 [ROLL ON] または [ROLL OFF] が表示されるまで、▲ または ▼ を繰り返し押します。
- 3 ① を回して設定を選択します。
 - [ROLL ON] (スクロールオン) : 再生中に自動スクロールされます。
 - [ROLL OFF] (スクロールオフ) : 再生中に自動スクロールされません。

衝撃保護設定の選択

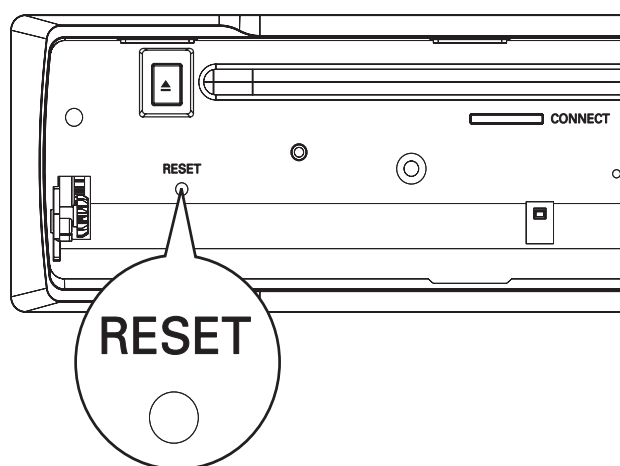
自動車の安定性と道路状況に応じて、衝撃保護設定を選択することができます。

- 1 MENU/DISP を約 3 秒間押し続けます。
- 2 [ESP] が表示されるまで、▲ または ▼ を繰り返し押します。
- 3 ① を回して設定を選択します。
 - [ESP 10 S] : 道路に段差が少なくスムーズな場合はこれを選択します。
 - [ESP 40 S] : 道路に段差が多く不安定な場合はこれを選択します。

リセット

機器をデフォルト設定にリセットすることができます。

- 1 前面パネルを取り外します (「前面パネルの取り外し」(43 ページ) を参照)。
- 2 ボールペンなど先の尖った物でリセットボタンを押します。
↳ プリセットチャンネルや音量調整など、プリセットされた調整は消去されます。

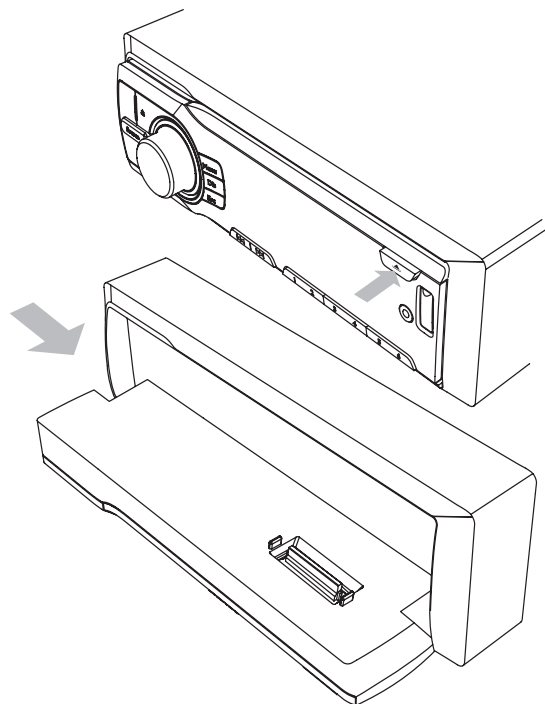


8 追加情報

前面パネルの取り外し

盗難防止のために、前面パネルは取り外すことができます。

- 1 ▲ を押してパネルを開けます。
- 2 パネルの左側を右方向に押します。

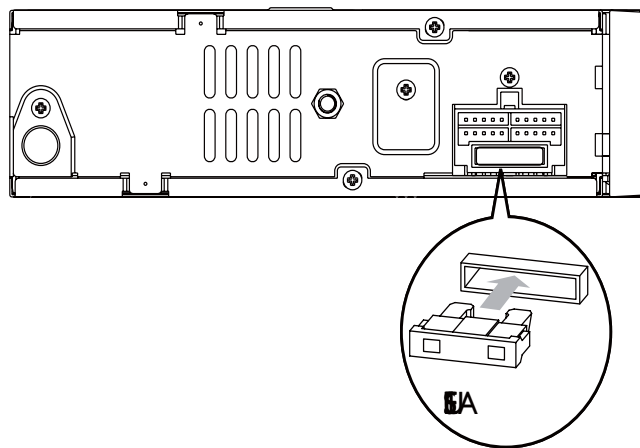


- 3 パネルを手前に引いて、シャーシから取り外します。
- 4 埃や損傷から保護するために、取り外したパネルは付属のキャリーケースに入れてください。

ヒューズの交換

ヒューズが損傷した場合：

- 1 電気接続を確認します。
- 2 損傷したヒューズと同じ容量のヒューズを購入します。
- 3 ヒューズを交換します。



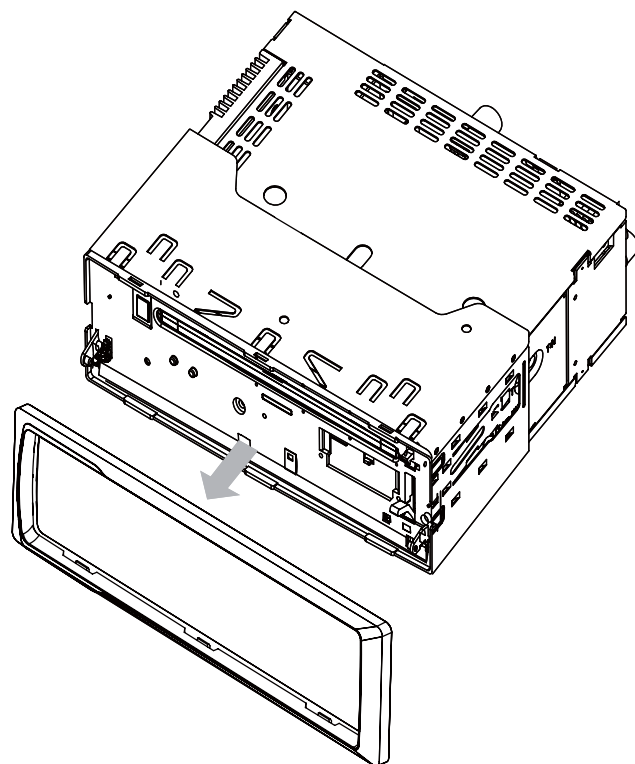
注

- 交換した新しいヒューズがまた損傷するような場合は、内部的な障害が考えられます。最寄りの Philips デイラーにご相談ください。

機器の取り外し

機器はダッシュボードから取り外すことができます。

- 1 前面パネルを取り外します。
- 2 取り外しキーを使用して、機器を引き出します。



9 製品情報

注

- 製品情報は予告なく変更されることがあります。

電源	12 V DC (11~16 V)、マイナスグラウンド
ヒューズ	15 A
最適なスピーカーインピーダンス	4~8 Ω
最大出力	45 W $\times$ 4 チャンネル
連続出力	22 W $\times$ 4 RMS (4 Ω 10% T.H.D.)
プリアンプ出力	
電圧	2.0 V
補助入力レベル	$\geq$ 500 mV
寸法 (W $\times$ H $\times$ D)	188 $\times$ 58 $\times$ 206 mm
重量	1.57 kg

無線

周波数範囲 - FM	87.5~108.0 MHz (自動サーチではステップごとに 100kHz、手動サーチではステップごとに 50kHz)
周波数範囲 - AM (MW)	522~1620 KHz (9 kHz) 530~1710 kHz (10 kHz)
実用感度 - FM	8 μ V
実用感度 - AM (MW) (S/N = 20 dB)	30 μ V

対応 USB デバイス:

- USB フラッシュメモリ: USB 1.1、全速度対応読み取りインターフェイス (1.1、2.0)
- USB フラッシュプレイヤー: USB 1.1、全速度対応読み取りインターフェイス (1.1、2.0)

サポートされているフォーマット:

- USB またはメモリファイルフォーマット: FAT16、FAT32
- MP3 ビットレート (データレート): 32~320 Kbps および可変ビットレート
- WMA V4、V7、V8、V9 (L1、L2)
- ISO9660、Joliet
- 最大タイトル数: 512 (ファイル名の長さによって異なります)
- 最大アルバム数: 255
- サポートされているサンプリング周波数: 2 kHz、44.1 kHz、48 kHz
- サポートされているビットレート: 2~256 (kbps)、可変ビットレート
- サポートされているディレクトリ階層: 最大 8 レベル
- アルバム/フォルダ数: CD は最大 99、USB は最大 199
- トラック/タイトル数: 999
- ID3 タグ v2.0 以降
- Unicode UTF8 のファイル名 (最大 64 バイト)

サポートされていないフォーマット:

- 空のアルバム: MP3/WMA ファイルが含まれていないアルバム。画面に表示されません。
- サポートされていないフォーマットのファイルはスキップされます。たとえば、Word 文書 (.doc) や拡張子が .dlf の MP3 ファイルは無視され、再生されません。
- AAC、WAV、PCM オーディオファイル
- DRM 保護された WMA ファイル (.wav、.m4a、.m4p、.mp4、.aac)
- ロスレスフォーマットの WMA ファイル

10 トラブルシューティング



注意

- 機器のケーシングは絶対に取り外さないでください。

システムは自分で修理しようとししないでください。保証が無効になります。

機器の使用中に問題が発生した場合は、修理を依頼する前に以下の点を確認してください。それでも問題が解決されない場合は、Philips Web サイト (www.philips.com/support) をご覧ください。Philips にお問い合わせの際は、お使いの機器とモデル番号およびシリアル番号をお手元にご用意ください。

電源が入らない、または音が出ない。

- 自動車のエンジンがかかっていません。エンジンをかけてください。
- ケーブルが正しく接続されていません。接続を確認してください。
- ヒューズが焼き切れています。ヒューズを交換してください。
- 音量が小さすぎます。音量を調整してください（「音量の調整」(40 ページ) を参照）。
- 以上の点を確認しても問題が解決されない場合は、RESET ボタンを押してください。
- 再生中のトラックのフォーマットがサポートされていることを確認してください。

ラジオ放送に雑音が入る。

- 信号が弱すぎます。信号強度の高い他のラジオ局を選択してください。
- カーアンテナの接続を確認してください。
- 放送をステレオからモノラルに切り換えてください。

ディスクを再生できない。

- ディスクがラベルの印刷面を上にして挿入されていることを確認してください。
- ディスクをクリーニングしてください。クリーニングクロスで、中心から外周に向けてまっすぐに拭きます。
- ディスクに傷がある可能性があります。別のディスクを再生してみてください。
- CD が CD/CD-R/CD-RW でファイナライズされていることを確認してください。
- CD が著作権保護テクノロジーを使用して暗号化されていないことを確認してください。

CD の再生中にトラックがスキップされる。

- CD に傷や汚れがないことを確認してください。
- ランダム再生モードがオフになっていることを確認してください。

ディスクを取り出せない。

- ▲ を押し続けてください。

プリセット局が消去されていた。

- バッテリーケーブルが正しく接続されていません。バッテリーケーブルを、有効な端子に接続してください。

画面に ERR-12 と表示される。

- USB データエラーです。USB デバイスを確認してください。

11 用語集

M

MP3

音声データ圧縮機能を備えたファイルフォーマット。MP3 は、MPEG-1 (Motion Picture Experts Group 1) Audio Layer 3 の短縮形です。MP3 フォーマットを使用すると、1 枚の CD-R または CD-RW に通常の CD の約 10 倍のデータを格納できます。

W

WMA (Windows Media Audio)

Microsoft が所有する音声フォーマットで、Microsoft Windows Media 技術の一部を構成します。Microsoft デジタル著作権管理ツール、Windows Media Video エンコーディング技術、および Windows Media Audio エンコーディング技術を含みます。

